

5月

<p>ケナリも花、サクラも花</p> <p>【必修②】</p>	<p>4</p>	<p>3.5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉や国を超えたコミュニケーションを考える。 ●表現から人物の思いを捉える。 	<ol style="list-style-type: none"> ①筆者の受けたインタビューを整理し、コミュニケーションの成立という観点から、それぞれのインタビューの違いを考え、交流する。 ②キーワードから筆者の思いや考えを捉える。 ③スヨンが記事の言外に込めたメッセージを捉える。 ●表題に込められた筆者の思いや考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉や国を超えたコミュニケーションを考えようとしている。 ●表現から人物の思いを捉えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーションの成立という観点から、それぞれのインタビューの違いについて、交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者の受けたインタビューを整理している。 ●表題に込められた筆者の思いや考えを書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーションの成立という観点から、筆者の受けたインタビューの違いを理解している。 ●キーワードから筆者の思いや考えを理解している。 ●スヨンが記事の言外に込めたメッセージを理解している。 ●表題に込められた筆者の思いや考えを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●随想の特徴を理解している。 ●表題やキーワードの役割を理解している。 	<p>(1)7㍻</p> <p>(2)7㍻</p>	<p>(1)7㍻</p> <p>(2)7</p>	<p>(1)7㍻</p> <p>(2)7</p>	<p>(1)㍻(㍻)</p> <p>(1)7(7)(㍻)</p>
<p>Water</p> <p>【選択】</p>	<p>0 </p>	<p>0</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●仲間の絆の深まりを考える。 ●会話表現・心理表現の特徴と効果を捉える。 	<ol style="list-style-type: none"> ①表現に即して、作品中の仲間の絆の深まりについて説明する。 ②書き換えを通じて、比喩表現の意味を捉え、その効果を味わう。 ③会話表現・心理表現の意味を理解し、その特徴と効果を捉える。 ④視点人物を変えて書き換え、作品を捉え直し、読解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●仲間の絆の深まりを考えようとしている。 ●会話表現・心理表現の特徴と効果を捉えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●表現に即して、作品中の仲間の絆の深さについて説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●比喩表現の意味を踏まえて書き換えている。 ●視点人物を変えて作品を書き換えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●表現に即して、作品中の仲間の絆の深まりについて理解している。 ●比喩表現の意味を捉え、効果を味わっている。 ●会話表現・心理表現の意味を理解し、その特徴と効果を捉えている。 ●視点人物を変えて作品を捉え直し、読解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●小説の特徴を理解している。 ●比喩表現の意味と効果を理解している。 ●会話表現・心理表現の特徴と効果を捉えている。 	<p>(1)7㍻</p> <p>(2)7㍻</p>	<p>(1)7㍻</p> <p>(2)7</p>	<p>(1)7㍻</p> <p>(2)7</p>	<p>(1)㍻(㍻)</p>
<p>発見する読み1</p> <p>問のある読みへ（「プロット」を考える）</p>	<p>1</p>	<p>0.5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●プロットを追う読みによって、読解が深まることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「ごんぎつね」で、ストーリーとプロットの違いを理解する。 ●「ケナリも花、サクラも花」で、ストーリーをプロットに書き直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●プロットを追う読みによって、読解が深まることを理解しようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●「ケナリも花、サクラも花」で、ストーリーをプロットに書き直している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「ごんぎつね」で、ストーリーとプロットの違いを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ストーリーとプロットの違いを理解している。 ●プロットを追う読みによって、読解が深まることを理解している。 	<p>(1)㍻</p> <p>(2)7</p>	<p>(1)㍻</p> <p>(2)7</p>	<p>(1)㍻</p> <p>(2)7</p>	<p>(1)㍻(7)(㍻)</p>
<p>活動を考える1</p> <p>話し言葉で伝えるために</p>	<p>0.5</p>	<p>0.5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●聞き手の共感を呼ぶ話し方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●大勢の聞き手の心に届く話、大勢の聞き手と共有できる話が成立する要件について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●聞き手の共感を呼ぶ話し方を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●パブリック・スピーキングの要件について、気づいたことを出し合っている。 			<ul style="list-style-type: none"> ●パブリック・スピーキングの要件に気づいている。 	<p>(1)7㍻</p> <p>(2)7㍻</p>			<p>(1)㍻(7)(㍻)</p>
<p>話す聞く1</p> <p>世界に届ける言葉（パブリック・スピーキング）</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●パブリック・スピーキングの仕方を考えて実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●意見文とパブリック・スピーキングでは、表現の仕方に違いがあることに気づく。 ●グループで話し合い、意見文をパブリック・スピーキングの原稿に変える。 ●グループ代表のパブリック・スピーキングをクラス全体で聞く。 ●学習を振り返ってグループで話し合い、パブリック・スピーキングの要件をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●パブリック・スピーキングの仕方を考えて実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーキング原稿をよりよいものにするために、話し合っている。 ●要件を満たしているか、どんな工夫がなされているかに注意しながら、パブリック・スピーキングの発表を聞いている。 ●パブリック・スピーキングの要件を話し合っまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●意見文とパブリック・スピーキングの違いを意識しながら、スピーキング原稿をまとめている。 ●話し合いを通じて、スピーキング原稿をよりよいものになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●意見文とパブリック・スピーキングでは表現の仕方に違いがあることを理解している。 ●パブリック・スピーキングの要件を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●パブリック・スピーキングの要件を理解している。 	<p>(1)7㍻</p> <p>(2)7㍻</p>	<p>(1)7㍻</p> <p>(2)7</p>	<p>(1)7㍻</p> <p>(2)㍻</p>	<p>(1)㍻(7)(㍻)</p>

5月	活動を考える2	心を動かす言葉	0.5	0	●聞き手の心をつかむ話し方を見つける。	●優れた工夫を捉えながら、有名なパブリック・スピーキングの記録を読む。	●聞き手の心をつかむ話し方を見つけようとしている。			●優れた工夫を捉えながら、有名なパブリック・スピーキングの記録を読んでいる。	●パブリック・スピーキングの工夫について理解を深めている。			(1)アイエオ (2)イ	(1)イ(7)(4)
	文字を見抜く1	表意文字と表音文字	1	0	●表意文字・表音文字について理解する。	●世界の文字には表音文字と表意文字があることを知り、ハングルを例に表音文字について、ピクトグラムを例に表意文字について理解を深める。	●ハングルやピクトグラムに関心を持ち、文字や標識の特徴や役割を知ろうとしている。				●世界にはさまざまな文字があることを知り、表意文字である漢字、表音文字である仮名の特徴を生かして使いこなす態度を身につけている。				(1)ウ(7)(4)
6月	2生命	地獄の季節（屏詩）	0	0	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨こうとしている。			●語感を磨くために音読・暗唱している。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。	(1)カ		(1)アエオ	(1)イ(7)(4)
	命の共鳴	握手			●歴史の中の生を考える。	①握手の様子に込められた、心理や暗示を捉え、交流する。 ●モチーフ（手・指）の使い方の違いから意味や心理を捉える。	●歴史の中の生を考えようとしている。		●指を打ち付ける動作に込められた、「私」の心理を捉えて書き換えている。 ●亡くなったルロイ宛てに、彼の生き方や思想について、再会時には言えなかった「私」の思いを込めて手紙を書いている。	●握手の様子に込められた、心理や暗示について理解している。 ●小説の特徴を理解している。	●小説の特徴を理解している。	(1)アイエ	(1)アイエ	(1)アイエオ	(1)イ(7)(4)
		【必修①】	5	5	●モチーフ（手・指）の使い方の違いから意味や心理を捉える。	①指を打ち付ける動作に込められた、「私」の心理を捉えて書き換える。 ②亡くなったルロイ宛てに、彼の生き方や思想について、再会時には言えなかった「私」の思いを込めて手紙を書く。 ●漫画を参考にして、作品の語りの構造を捉える。	●モチーフ（手・指）の使い方の違いから意味や心理を捉えようとしている。	●握手の様子に込められた、心理や暗示について交流している。	●指を打ち付ける動作に込められた、「私」の思いを込めて手紙を書いている。 ●ルロイの生き方や思想について、再会時には言えなかった「私」の思いを理解している。 ●漫画を参考にして、作品の語りの構造を捉えている。	●モチーフ（手・指）の使われ方について理解している。 ●語りの構造について理解している。	(2)アイ	(2)ア	(2)イ	(1)ウ(7)(4)	
	●表現を吟味して歴史における生についての理解を広げ深めよう●	輝ける闇			●歴史に翻弄される生を考える。	①表現の細部を吟味して、戦争に翻弄される「私」についての作者の認識を捉える。 ②書き換えなどによって、比喩表現の意味を捉え、交流する。 ●比喩表現の効果について理解したことをノートなどに書き、交流する。	●歴史に翻弄される生を考えようとしている。	●比喩表現の意味について、交流している。	●比喩表現の意味を捉えて書き換えている。	●表現の細部を吟味して、戦争に翻弄される「私」についての作者の認識を捉えている。	●小説の特徴を理解している。	(1)アイエ	(1)アイエ	(1)アイエ	(1)イ(4)
【必修②】		4	4	●比喩の効果捉える。	●比喩表現の効果について理解したことをノートなどに書き、交流する。	●比喩の効果捉えようとしている。	●比喩表現の効果について、交流している。	●比喩表現の効果について書いている。	●比喩表現の効果について理解している。	●比喩表現の効果について理解している。	(2)アイ	(2)アイ	(1)アイエ	(1)ウ(7)(4)	
		俳句（解説）	3	3	●仲間同士で言葉を磨き合うことの大切さを理解する。 ●俳句表現を検討する方法を理解する。	●句会の例に基づいて、言葉を磨き合うことの大切さを理解する。 ●句会の例に基づいて、俳句と短歌の違いや俳句表現の評価の仕方を理解する。	●仲間同士で言葉を磨き合うことの大切さを理解しようとしている。 ●俳句表現を検討する方法を理解しようとしている。		●句会の例に基づいて、言葉を磨き合うことの大切さを理解している。 ●句会の例に基づいて、俳句と短歌の違いや俳句表現の評価の仕方を理解している。	●俳句の特徴を理解している。 ●句会の特徴を理解している。 ●俳句と短歌の違いや評価の仕方の違いを理解している。	(1)アイエオ (2)カ		(1)アイエオ (2)カ	(1)イ(4)	

7月

<p>活動を考える3</p>	<p>考えを深める</p>	<p>0.5</p>	<p>0.5</p>	<p>●解釈を深める方法を考える。</p>	<p>●解説文を読んで、読む行為は作品の言葉を介した新しい意味の生成であることを理解する。 ●解説文を読んで、解釈を深めるには、友達と解釈を交流して、より充実した意味の生成を試みる必要があることを理解する。</p>	<p>●解釈を深める方法を考えようとしている。</p>			<p>●読む行為は作品の言葉を介した新しい意味の生成であることを理解している。 ●解釈を深めるには、友達と解釈を交流して、より充実した意味の生成を試みる必要があることを理解している。</p>	<p>●読む行為や交流について、読者による意味生成という観点から再認識している。 ●交流の意義について再認識している。</p>		<p>(1)747エ (2)747</p>	<p>(1)イイ (1)イイ</p>
<p>書く1</p>	<p>批評する言葉（批評文を書く）</p>	<p>2.5</p>	<p>2.5</p>	<p>●友達と一緒に批評の言葉を見つける。</p>	<p>●次の手順で批評文を書く。 ①既習の詩を一つ選び、同じ詩を選んだ者でグループを作る。 ②詩を読んで、その表現・展開・主題などについて、話し合いたいことを書き出す。 ③書いたことを出し合って、グループで話し合う。 ④一人読みとグループ読みの違いについて感想をまとめ、グループ読みで自分の解釈の幅が広がることに気づく。 ⑤詩について話し合ったことをグループごとに発表する。 ⑥詩について書き出したことや話し合ったことをもとに、詩の批評文を書く。 ⑦グループ内で批評文を読み合い、感想を交流する。 ●学習を振り返り、批評の要件について話し合う。</p>	<p>●友達と一緒に批評の言葉を見つけようとしている。</p>	<p>●詩を読みながら書き出したことについてグループで話し合い、話し合いによって、自分の解釈の幅が広がることに気づいている。 ●詩について話し合ったことをグループごとに発表している。 ●グループ内で批評文を読み合い、感想を交流している。 ●学習を振り返り、批評の要件について話し合っている。</p>	<p>●詩を読んで、その表現・展開・主題などについて書き出している。 ●一人読みとグループ読みの違いについて感想をまとめている。 ●詩について書き出したことや話し合ったことをもとに、詩の批評文を書いている。 ●グループ内で批評文を読み合っている。</p>	<p>●既習の詩を一つ選び、読み込んでいる。</p>	<p>●批評の要件について理解している。 ●交流によって、作品の解釈が広がることを理解している。</p>	<p>(1)747エ (2)747</p>	<p>(1)747エ (2)747</p>	<p>(1)イイ (1)747(1)</p>
<p>文字を見抜く2</p>	<p>常用漢字表の話</p>	<p>1</p>	<p>0.5</p>	<p>●常用漢字表について理解する。</p>	<p>●公文である常用漢字表に、なぜあまり目にする事のない漢字が収められているのかを知り、日本国憲法の条文に見られる語で確かめる。 ●常用漢字表の成立と改定について、その経過や趣旨を知る。</p>	<p>●常用漢字表に関心をもち、収められている漢字を確かめようとしている。</p>				<p>●常用漢字表などの公文があることを知り、必要があれば参照する態度を身につけている。</p>			<p>(1)747(1)</p>

9月～
10月

運動会			●歴史に原因を求める方法について考える。	●「文化としてのスポーツ」成立の三要件を整理し、現代のスポーツ・イベントが三要件に該当するか評価し、その結果を発表する。	●筆者の主張に基づいて、身の回りの運動会を吟味する。	●歴史に原因を求める方法について考えようとしている。	●「文化としてのスポーツ」成立の三要件に現代のスポーツ・イベントが該当するか、その結果を発表している。	●運動会の発生史についての筆者の分析を表にまとめ、筆者の主張を支える事例を抜き出している。	●段落構成から論理展開を捉えている。	●評論の特徴を理解している。	(1)71㍉	(1)71㍉	(1)71㍉	(1)71㍉	
【必修②】	4	4	●視点に着目して主張を捉える。	●「文化としてのスポーツ」成立の三要件に該当するか評価し、その結果を発表する。	●筆者の主張に基づいて、身の回りの運動会を吟味する。	●視点に着目して主張を捉えようとしている。	●「文化としてのスポーツ」成立の三要件に現代のスポーツ・イベントが該当するか、その結果を発表している。	●「文化としてのスポーツ」成立の三要件を整理している。	●運動会の発生史についての筆者の分析と主張を支える事例を捉えている。	●段落構成から論理展開や文章展開を捉えることができた。	(2)71	(2)7	(2)1	(1)7(7)(1)	
武蔵野の風景			●歴史を踏まえた思考の深まりについて考える。	●自然保護や環境保護についての既知を確認する。	●論理的表現の深め方を捉える。	●歴史を踏まえた思考の深まりについて考えようとしえている。	●論理的表現の深め方を捉えようとしている。	●自然保護や環境保護についての既知を書いている。	●思考を深めたり広げたりする上で、歴史から発想を得る方法がどのように有効に働いているかについて理解している。	●評論の特徴を理化学している。	(1)71㍉	(1)71㍉	(1)71㍉	(1)71㍉	
【選択】	0	0	●論理的表現の深め方を捉える。	●筆者が開発史や自然保護の歴史から得た発想を整理する。	●思考を深めたり広げたりする上で、歴史から発想を得る方法がどのように有効に働いているかについて、交流する。	●論理展開に即して、筆者の思考の深まり方を詳しく捉える。	●二次的な自然の創出と環境破壊の違いについてまとめ、自然保護や環境保護についての既知の更新を確認する。	●二次的な自然の創出と環境破壊の違いについてまとめ、自然保護や環境保護についての既知の更新を確認している。	●思考を深めたり広げたりする上で、歴史から発想を得る方法がどのように有効に働いているかについて、交流している。	●二次的な自然の創出と環境破壊の違いについてまとめ、自然保護や環境保護についての既知の更新を確認している。	●論理展開に即して、筆者の思考の深まり方を詳しく捉えている。	(2)71	(2)7	(2)1	(1)7(1)
発見する読み2			「述べられていないこと」を見つめる(ふっくらと)	●「述べられていないこと」を読者が補うことによって、読解の多様性が生じることを再認識する。	●「述べられていないこと」に基づいて自分が想像した「述べられていない」言動や気持ちを書き出す。	●想像したことの共通点や相違点を吟味し、読解が一致した理由や異なった理由について交流する。	●「述べられていないこと」を読者が補うことによって、読解の多様性が生じることを再認識しようとしている。	●想像したことの共通点や相違点を吟味し、読解が一致した理由や異なった理由について交流している。	●登場人物の言動で、「述べられていること」を抜き出している。	●「述べられていること」に基づいて「述べられていない」言動や気持ちを想像している。	●想像したことの共通点や相違点を吟味し、読解が一致した理由や異なった理由について捉えている。	(1)71㍉	(2)71	(2)7	(1)7(1)

11月

枕草子（発見する言葉）	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ●発見を促し感受性を広げる言葉の力を捉える。 ●言葉を共有する喜びを捉える。 	<ol style="list-style-type: none"> ①「春はあけぼの」の叙述を多角的に吟味し、言葉の力に触れる。 ①「春はあけぼの」の叙述に重なる自分の体験を想起して、「春はあけぼの」の言葉の力を実感する。 ②「うつくしきもの」の三例を比較・吟味し、物事の新しい側面を見つけ出す言葉の力に触れる。 ②書くことによって自分の体験の新しい側面を見つけ出し、「うつくしきもの」の言葉の力を実感する。 ③「香炉峰の雪」で筆者が御簾を挙げた理由を、漢詩の内容から捉える。 ④「香炉峰の雪」で中宮が喜んだ理由を、他の女房の発言から捉える。 ⑤「香炉峰の雪」のテーマを、言葉の共有という観点から考え、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ●言葉の力や言葉の共有について、気づいたことを交流し、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●発見を促し感受性を広げる言葉の力を捉えようとしている。 ●言葉を共有する喜びを捉えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「香炉峰の雪」のテーマについて、言葉の共有という観点から交流している。 ●言葉の力や言葉の共有について、気づいたことを交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「春はあけぼの」の叙述を多角的に吟味している。 ●「うつくしきもの」の三例を比較・吟味している。 ●「うつくしきもの」にならって、書くことによって自分の体験の新しい側面を見つけ出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「春はあけぼの」の言葉の力に触れ、体験に照らして言葉の力を実感している。 ●「うつくしきもの」の言葉の力に触れ、自分の体験を書くことによって言葉の力を実感している。 ●「香炉峰の雪」で筆者が御簾を挙げた理由を、漢詩の内容から捉えている。 ●「香炉峰の雪」で中宮が喜んだ理由を、他の女房の発言から捉えている。 ●「香炉峰の雪」のテーマを、言葉の共有という観点から捉えている。 ●言葉の力や言葉の共有について、理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●随想の特徴を理解している。 	(1)アイ (2)ア	(1)アイ (2)ア	(1)アイ (2)ア	(1)ア(イ) (1)イ(ア) (1)ア(イ)
漢詩	3	2.5	<ul style="list-style-type: none"> ●詩に詠まれた心情や情景、詩が詠まれた背景を捉える。 ●詩の情景や心情を想像し、詩の展開を踏まえて音読する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①それぞれの漢詩の対句や起承転結の構成について、理解を交流する。 ①それぞれの漢詩が、どのような情景、人間関係、心情を描いているか理解し、短い文章にまとめる。 ②情景や心情、構成の理解に基づいて音読する。 ●漢詩が日本古典に与えた影響を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●詩に詠まれた心情や情景、詩が詠まれた背景を捉えようとしている。 ●詩の情景や心情を想像し、詩の展開を踏まえて音読しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●それぞれの漢詩の対句や起承転結の構成について、理解を交流している。 ●情景や心情、構成の理解に基づき音読している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●それぞれの漢詩が、どのような情景、人間関係、心情を描いているか、短い文章にまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●対句や起承転結の構成について、理解している。 ●それぞれの漢詩が、どのような情景、人間関係、心情を描いているか、理解している。 ●漢詩が日本古典に与えた影響を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●漢詩の特徴を理解している。 	(1)アイ (2)ア	(1)アイ (2)ア	(1)アイ (2)ア	(1)ア(イ) (1)イ(ア) (1)ア(イ)

12月	古典読書	先人の達成と共に (本歌取りなど)	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ●言語文化の継承は更新を伴うことを理解する。 ●更新を伴う言語文化の継承の一例として本歌取りを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●解説文を読んで、さまざまな言語文化の継承のあり方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●言語文化の継承は更新を伴うことを理解しようとしている。 ●更新を伴う言語文化の継承の一例として本歌取りを理解しようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●言語文化の継承は更新を伴うことを理解している。 ●言語文化の継承と更新の一例として本歌取りを理解している。 ●本歌取りについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●更新を伴う言語文化の継承の一例として、本歌取りを理解している。 ●本歌取りについて理解している。 			(1)7ｲｲ㇗	(1)7(㇗)
	活動を考える5	記憶を掘り起こす	0.5	0	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の学びの履歴を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の学びの履歴の中で重要な出来事や出会いなどを文章にまとめるために、年表を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の学びの履歴を振り返ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の学びの履歴を振り返り、年表を作成している。 		<ul style="list-style-type: none"> ●自分の学びの履歴を振り返ることの意義を理解している。 		(1)7		(1)7(㇗)(㇗)
	書く2	あのとときかもしれない (エッセイを書く)	2.5	1	<ul style="list-style-type: none"> ●今の自分を生かしているものを見つめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●年表を見ながら、新しい見方や考え方を知った経験がなかったか思い出す。 ●思い出したことを短い文に書く。 ●新たに気づいたこと、気づいたきっかけ、自分にとっての意味という三つの項目で、思い出したことを整理する。 ●順序、書き出し、文末表現を工夫して、経験とそれに対する自分の意味づけがうまくつながるように組み立てを考えて、文章にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今の自分を生かしているものを見つめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●思い出したことを「～に気づいたのはあのとときかもしれない」という短い文で端的に書いている。 ●新たに気づいたこと、気づいたきっかけ、自分にとっての意味という三つの項目で、思い出したことを整理している。 ●順序、書き出し、文末表現を工夫して、経験とそれに対する自分の意味づけがうまくつながるように、分かりやすく書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者の気づきや表現の工夫に着目して、「これから生きていく上で」を読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●随想の書き方を理解している。 ●表現を工夫して書き、推敲する方法を理解している。 	(1)7ｲ	(2)ｲ	(1)7(㇗)(㇗)	
	文字を見抜く4	平仮名と片仮名	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ●平仮名・片仮名について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●平仮名・片仮名の用いられている資料の一部を読んで、平仮名・片仮名についての理解を深め、一覧表で現行の平仮名・片仮名のもとになった漢字を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●平仮名・片仮名の役割を考え、使いこなそうとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ●平仮名・片仮名を使いこなしている。 				(1)7(㇗)
	言葉と生活 ・ 言葉と文化	日本語の由来	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ●和語・漢語・外来語の由来について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●和語への漢語・外来語導入について、歴史を踏まえて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本語の由来について知り、言語生活を豊かにするためにその知識を生かそうとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ●日本語の主體的な継承者として母語を捉える態度を身につけている。 				(1)7(㇗)(㇗)

三学期	5世界	言葉のない世界（扉詩）	0	0	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨く。	●音読・暗唱によって語感を磨こうとしている。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。	●語感を磨くために音読・暗唱している。	●音読・暗唱によって語感を磨いている。	(1)カ		(1)アオ	(1)イ(イ)
			灯台		●時代の変化との向き合い方を考える。	●時代の細部が象徴するものと作品の時代背景とを関連づけて、小説の舞台が「灯台」であったことの象徴的な意味を捉え、それを感じた部分をノートなどに抜き出し、その意味を書く。	●時代の変化との向き合い方を考えようとしている。	●「不安定」「光」「闇」など、表現の細部が象徴している意味について、説明している。	●作品の時代背景を表す表現を抜き出している。	●「不安定」「光」「闇」など、表現の細部が象徴している意味を捉えている。	●短編小説の特徴を理解している。	(1)アケ		(1)アケオ
		【必修①】	4	3.5	●象徴表現の特長を捉える。	●「灯台守」が「僕」を認知できなかった理由を、「僕」の立場の変化や成長による変化などに着目して説明する。	●象徴表現の特長を捉えようとしている。	●小説の舞台が「灯台」であったことの象徴的な意味について、交流している。	●象徴表現の効果について書いている。	●表現の細部が象徴するものと作品の時代背景とを関連づけて、小説の舞台が「灯台」であったことの象徴的な意味を理解している。	●象徴表現の効果や特長について理解している。	(2)ア	(2)ア	(1)イ(イ)
		●表現を吟味して未来に向かう認識を持とう●			●「僕」が「灯台守」との関わりの中から得たものを考える。	●象徴表現の効果について書く。	●「灯台守」が「僕」を認知できなかった理由を、「僕」の立場の変化や成長による変化などに着目して説明している。	●「灯台守」が「僕」を認知できなかった理由を、「僕」の立場の変化や成長による変化などに着目して捉えている。	●「僕」が「灯台守」との関わりの中から得たものを理解している。					
1月		故郷			●他者と共有し得る未来への願いを考える。	●他者と共有し得る未来への願いを整理する。	●他者と共有し得る未来への願いを考えようとしている。	●登場人物の変化に象徴された時代状況について、考えを交流している。	●関土、「私」、楊おばさんの変化を理解している。	●小説の特徴を理解している。	(1)アケ	(1)アケ	(1)アケオ	(1)イ(イ)
		【必修②】	6	5	●人物や風景の変化に象徴された時代状況を捉える。	●「私」と関土の再会の悲しみについて、二人の変化と再会時の言動を踏まえて書く。	●人物や風景の変化に象徴された時代状況を捉えようとしている。	●空や月が象徴するのは何か、考えを交流している。	●「私」と関土の再会の悲しみについて、二人の変化と再会時の言動を踏まえて書いている。	●象徴表現について理解している。	(2)ア	(2)ア	(2)ア	(1)イ(イ)
					●登場人物の変化に象徴された時代状況について、考えを交流する。	●空や月の描写の違いを表にまとめる。	●空や月が象徴するのは何か、表を見ながら考えを交流する。	●象徴表現である空や月の役割は何か、考えを交流している。	●「私」と関土の再会の悲しみについて、二人の変化と再会時の言動を踏まえて書いている。	●登場人物の変化に象徴された時代状況を理解している。	●視点を変えて作品を捉え直すことによって、読解が深まることを理解している。			
					●「私」の希望や願いは何か、表に注目して考えを交流する。	●「私」の希望や願いは何か、考えを交流している。	●作者やさまざまな登場人物になって問答を行うことを通じて、視点を変えて作品を捉え直し、読解を深める。	●空や月の描写の違いを捉えている。	●「私」の希望や願いを理解している。	●視点を変えて作品を捉え直し、読解を深める。				

2月

<p>夕空晴れて</p> <p>【選択】</p>	<p>0 0</p>	<p>●行動を通じた世代間の関わりを考える。</p> <p>●行動に潜む深い思いを理解する方法を捉える。</p>	<p>①既習教材に描かれた世代間交流から感じたことを思い出して、出し合う。</p> <p>②「冷泉」に面会することにした「由美」の当初の思い、「冷泉」の話聞いて泣いた時の「由美」の思いを説明する。</p> <p>③「神様がこしらえた野球」に対する登場人物それぞれの思いを表にまとめ、交流する。</p> <p>④「由美」が実家に戻らないと決めた理由を、「神様がこしらえた野球」に対する茂との思いの共有に関連させて、理解する。</p> <p>⑤題名が象徴する意味を、最終場面に関連させて理解し、交流する。</p>	<p>●行動を通じた世代間の関わりを考えようとしている。</p> <p>●行動に潜む深い思いを理解する方法を捉えようとしている。</p>	<p>●既習教材に描かれた世代間交流から感じたことを思い出して、出し合っている。</p> <p>●「冷泉」に面会することにした「由美」の当初の思い、「冷泉」の話聞いて泣いた時の「由美」の思いについて説明している。</p> <p>●「神様がこしらえた野球」に対する登場人物それぞれの思いについて、交流している。</p> <p>●最終場面に関連させて、題名が象徴する意味について、交流している。</p>	<p>●「冷泉」に面会することにした「由美」の当初の思い、「冷泉」の話聞いて泣いた時の「由美」の思いを理解している。</p> <p>●「神様がこしらえた野球」に対する登場人物それぞれの思いを理解している。</p> <p>●「由美」が実家に戻らないと決めた理由を、「神様がこしらえた野球」に対する茂との思いの共有に関連させて、理解している。</p> <p>●題名が象徴する意味を、最終場面に関連させて理解している。</p>	<p>●小説の特徴を理解している。</p> <p>●題名が象徴する意味を理解している。</p>	<p>(1)71㍉</p> <p>(2)71</p>	<p>(1)71㍉</p> <p>(2)7</p>	<p>(1)71㍉</p> <p>(2)7㍉</p>	<p>(1)㍉(㍉)</p>
<p>発見する読み3</p> <p>世界・言葉（白い闇のほうへ）</p>	<p>1 1</p>	<p>●言葉によって世界が構成されていることを理解し、災害からの復興の課題と言葉との関係について深く理解する。</p>	<p>●特徴的な表現に着目して、詩に込められた復興への思いを読み取り、交流する。</p>	<p>●言葉によって世界が構成されていることを理解し、災害からの復興の課題と言葉との関係について深く理解しようとしている。</p>	<p>●特徴的な表現に着目して、詩に込められた復興への思いについて交流している。</p> <p>●復興に関わる詩の表現を抜き出している。</p>	<p>●サブテキストも参照しながら、特徴的な表現に着目し、詩に込められた復興への思いを深く理解している。</p>	<p>●詩の特徴を理解している。</p> <p>●災害からの復興の課題と言葉との関係について深く理解している。</p>	<p>(1)71㍉</p> <p>(2)71</p>	<p>(1)7</p>	<p>(1)71㍉</p> <p>(2)71㍉</p>	<p>(1)㍉(7)</p>
<p>文字を見抜く5</p> <p>指文字・手話</p>	<p>1 0</p>	<p>●指文字・手話について理解する。</p>	<p>●指文字・手話の特徴を理解し、言語について考えを深める。</p>	<p>●指文字・手話に関心を持ち、その特徴を捉えようとしている。</p> <p>●言葉を表す仕組みを、さまざまな観点から考察する態度を身につけている。</p>							<p>(1)㍉(7)(㍉)</p>
<p>文法の学習2</p> <p>指示語・接続語のまとめ</p>	<p>1 0</p>	<p>●指示語・接続語働きについての知識をまとめる。</p>	<p>●指示語・接続語働きについての知識をまとめる。</p> <p>●練習問題で知識を確かめる。</p>	<p>●指示語・接続語働きについての知識をまとめ、その知識を言語活動に生かそうとしている。</p>							<p>(1)㍉(7)</p>

2月	情報と表現2	言葉による発見（比喩という力）	2	1.5	●物事を認識し作り出す言葉の力について考える。 ●野矢茂樹の文章を読んで、人間が新たな世界を構想できるのは言葉の力によることを理解し、その可能性について話し合う。 ●ヘレン・ケラーの文章を読んで、人間が世界を構成・認識できるのは言葉の力によることを捉える。 ●世界を再構成・再認識する行為として比喩という言語行為を捉え、長田弘の詩に即して、比喩が自分の言葉による世界との関係の主体的な作り変えや作り直しであることを理解し、話し合う。 ●草野心平の詩を読んで、言語表現の限界に気づき、話し合う。	●物事を認識し作り出す言葉の力について考えようとしている。	●人間が新たな世界を構想できるのは言葉の力によることを理解し、その可能性について話し合っている。 ●比喩が自分の言葉による世界との関係の主体的な作り変えや作り直しであることについて、話し合っている。	●野矢茂樹の文章を読んで、人間が新たな世界を構想できるのは言葉の力によることを理解している。 ●ヘレン・ケラーの文章を読んで、人間が世界を構成・認識できるのは言葉の力によることを理解している。 ●世界を再構成・再認識する行為として比喩という言語行為を捉え、長田弘の詩に即して、比喩が自分の言葉による世界との関係の主体的な作り変えや作り直しであることを理解している。 ●草野心平の詩を読んで、言語表現の限界に気づいている。	●比喩表現の仕組みや効果についての理解を深めている。 ●世界を構成し再構成する言葉の力を認識し、主体的な言葉の使い手としての自覚を深めている。	(1)アイ (2)アイ	(1)アイ (2)ア	(1)アイ (2)ア	(1)イ (2)イ
3月	読書2	パール・ハーバーの授業	1	0	●国際社会における人間のあり方について考える。 ●授業の前後の「私」を比べ、その変化について整理する。 ●世界と日本の関係についての図書を読み、国際社会に生きる自分たちの生き方について学んだことを紹介し合う。	●国際社会における人間のあり方について考えようとしている。	●世界と日本の関係についての図書から、国際社会に生きる自分たちの生き方について学んだことを紹介し合っている。	●授業を通じた「私」の変化について整理している。 ●世界と日本の関係についての図書を読んでいる。	●随想の特徴を理解している。 ●比較することの効果を理解している。	(1)アイ (2)アイ	(1)ア (2)ア	(1)アイ (2)ア	(1)イ (2)イ
		顔の見える国際協力	2	0	●これからの国際協力について考える。 ●ネグロス島の事例が「顔の見える国際協力」の五条件を満たしているかどうか、表にまとめて確かめる。 ●「フェアトレード」について調べる。	●これからの国際協力について考えようとしている。	●ネグロス島の事例が「顔の見える国際協力」の五条件を満たしていることを、表にまとめて確かめている。	●「顔の見える国際協力」であるための五条件に沿って、ネグロス島の事例を吟味している。 ●「フェアトレード」について調べている。	●評論の特徴を理解している。 ●評論で用いられる言葉の意味を理解している。	(1)ア (2)アイ	(1)ア (2)ア	(1)アイ (2)ア	(1)イ (2)イ
	読書案内	網を編む（説明文・評論文から）	0	0	●発見を求めて説明文・評論文に読書を広げる方法を理解する。 ●発見を求めて説明文・評論文に読書を広げる方法を理解する。	●発見を求めて説明文・評論文に読書を広げる方法を理解しようとしている。			●発見を求めて読み広げる方法を理解している。			(1)ア (2)カ	(1)イ (2)イ

		通年で 随時	言語の学習	三年生の文法の学習	1	1		「文法の学習」で取り上げた文法事項について、そのつど系統的に学ぶ。							(1)(7)	
				活用コラム（文法を考える）	0	0	●実際の文章や言語生活の事例について文法的な考察を行う。	●実際の文章や言語生活の事例について文法的な考察を行う。	●実際の文章や言語生活の事例について文法的な考察を行おうとしている。						●日本語の主體的な継承者として文法的な見方、考え方に興味を持っている。	(1)(7)
				一・二年生の文法のまとめ	0	0		一・二年で取り上げた文法事項について、必要に応じて参照し復習する。								(1)(7)
				三年生の語句・語彙の学習	1	1	●場面や分野の違いによる語の使い分け、造語作用による語の構成について系統的に理解し、語を適切に使用する力をつける。		●場面や分野の違いによる語の使い分け、造語作用による語の構成について興味を持って学び、自らの言語生活に生かそうとしている。						●場面や分野の違いによる語の使い分け、造語作用による語の構成について系統的に理解している。	(1)(7)
				古典文法	0	0	●文語の語法・文法について理解を深める。	●文語の語法・文法について、巻末折り込み活用表と共に、古典読解の必要に応じて参照する。							●日本語の主體的な継承者として文語に関心を持っている。	(1)(7) (1)(7)
				今に伝わる注意したい古語	0	0	●文語の語彙について理解を深める。	●文語の語彙について、古典読解の必要に応じて参照する。							●日本語の主體的な継承者として文語に関心を持っている。	(1)(7) (1)(7)
		学年末	送り出し	自分だけの羅針盤・道	1	0	●映像と言語に込められた気持ちや主張を理解する。 ●情勢に翻弄されず堅実に未来を切り開いていく人生の指針が存在することを学ぶ。							●写真と文章から筆者のメッセージを捉え、情勢に翻弄されず堅実に未来を切り開いていく人生の指針が存在することを理解している。 ●将来の日本や世界を担う主体としての粘り強く堅実な姿勢を固めている。	(1)アイエ (1)(1)	

【注】① 上記は、学習過程における学習者の学習成果を判断するための規準として提案しています。今回大幅増補した「学びの窓」（手引き）に完全準拠して作成しました。学習に生かすための評価基準については、各学校の考え方や学習者の状況に応じて工夫していただきたいと思ひます。

【注】② ②で示したのは「表現に向かう読み」（単元を貫く言語活動）の大目標（表現目標）です。

【注】③ 読解教材の学習活動の●数字は、「学びの窓」の番号を示します。無番号の●は「まとめ」などの活動です。

【注】④ 「一」で示した時数は、次のように前の教材の時数に含めて考えています。（「俳句十五句」→「俳句（解説）」、「古典和歌の表現法」→「万葉・古今・新古今」）